

〈復刊 5 号〉

【部内資料】2018 年 4 月 16 日発行

★★★★★★★★★★★★★★

栃木県労連 NEWS

★★★★★★★★★★★★★★

発行者 栃木県労働組合総連合（略称 栃木県労連）

〒321-0138 宇都宮市兵庫塚 3-10-30 E-mail: roren.office@totigi.org

TEL: 028-653-1401 FAX: 028-653-1579

第 89 回栃木県メーデーのご案内

今年の栃木県メーデーは、5 月 1 日（火）に栃木県総合文化センターで開催します。諸事情により、例年と会場が異なりますのでご注意ください。

屋内（サブホール）で集会開催後、市内をパレードします。

開場（受付開始）10 時、開会 10 時 30 分、デモ出発は 11 時 45 分の予定です。

当日、チラシ配布や署名活動などを行う場合は、予め事務局に届け出てください。

届出・問い合わせ先；メーデー実行委員会事務局（栃木県労連内）

TEL028-653-1401 FAX028-653-1579 E メールは当 HP に掲載

5 万人が怒りの国会包囲！

4 月 14 日（土）、戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会などの主催で『安倍政権は退陣を！あたりまえの政治を市民の手で！ #0414 国会前大行動』が行われました。全国各地から政党、労働組合、市民団体のほか、様々な立場の人々が駆け付け、国会前は 5 万人の人々で立錫の余地もないほど埋め尽くされました。集まった人の中には、日の丸をモチーフにした旗を掲げた人や、創価学会の八葉蓮華入り三色旗を掲げた人なども見られ、国民の怒りが幅広い層に広がっていることを感じました。

全労連の小田川議長（総がかり行動実行委員会共同代表）をはじめ様々な政党、団体の代表や個人がスピーチし、「膿を出し切るといえるが、安倍首相自身が膿ではないか」「国政の私物化を許さず、安倍政権を総辞職に追い込もう」と呼びかけ、聴衆から賛同の声や拍手が湧きました。

栃木県労連からは近藤事務局長ほか、加盟組織の組合員などを含めて少なくとも 4 人（あまりの混雑により、それ以上は確認できず）が参加しました。時折小雨もちらつく曇り空の中、参加者は「安倍やめろ！」「改ざん、隠蔽、許さない！」などとコールしました。

一方、政権側は膨大な人数の警察官を動員し、歩道と車道の境界に隙間なく鉄柵を並べ、多数の車両を配置するという常軌を逸した過剰な警備体制を敷いて市民を威圧しました。目立った衝突はありませんでしたが、「市民の安全を守る警察が、いったい何を守ろうとしているのか？」と疑問の声が上がり、スピーチに立った弁護士も過剰警備を厳しく批判しました。

第 7 回幹事会を開催しました

4 月 12 日 18 時 30 分から、県労連事務所で第 7 回幹事会を開催し、11 人全員が出席しました。この間の活動経過、組織拡大、春闘の進捗、争議の状況などが報告され、春の総行動、第 89 回メーデーの具体的な内容、当面の活動などについて協議・決定しました。

次回の第 8 回幹事会は 5 月 10 日に開催します。

無法なシリア攻撃に抗議する！

米英仏 3 か国が、シリアの化学兵器製造施設を破壊すると称してミサイル攻撃を行いました。他国へ一方的にミサイルを撃ち込むなど、絶対に許されることはありません。無法な攻撃と、それに追従して支持を表明した安倍政権に対して断固抗議します。

安倍政権が憲法に書き込もうとしている自衛隊は、このような無法な武力攻撃を平然と行う米軍と一体化を強めています。また、戦争法の施行により、海外での武力行使にお墨付きを与えられた組織です。日本の自衛隊が、他国へミサイルを撃ち込むなどと言う悪夢の到来が、目前に迫っています。

安倍政権は北朝鮮の核開発やミサイル実験を非難し、その脅威を大げさに語ります。しかし、現実にはこの地球上で、他国にいきなりミサイルを撃ち込んでいるのは北朝鮮ではありません。そのような攻撃を最も多く実施しているのはアメリカであり、そのほとんどを支持し、批判すらしないのが今の日本政府です。一方でミサイル実験を非難し、一方でミサイル攻撃を支持するという行為が、いかに矛盾するものか安倍政権は気づかないのでしょうか。

シリア国民は、どう感じているのでしょうか。頭上から落ちてくるミサイルは、アサド政権のものではなくアメリカのものです。政府軍はそのミサイルを撃墜しようと努力しましたが、大半は着弾し、多くの人を殺し、生活を破壊しました。自分たちを苦しめるのは政府軍ではなくアメリカとその取り巻き国家だ、その恨みを晴らすべくアメリカとその同盟国にテロ攻撃しよう……そんな人が続出するのが現実ではないのでしょうか。

暴力と恐怖、憎しみの連鎖を断ち切るためには、武力ではなく、対話を基本とする外交努力による解決こそが求められます。そのために、今こそ日本は「正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求」すると謳った憲法 9 条の精神を発揮し、平和的解決に向けたイニシアチブを発揮すべきではないのでしょうか。

◎メーデー配布物等の準備にご協力ください

第 89 回メーデーの当日用プログラム、配布物の準備を下記日程で行います。多くの方のご協力をお願いします。なお、プログラムにチラシ等の組み込みを依頼する方は、必ずこの準備作業にご協力ください。

日時；4 月 26 日（木）13：30～16 時頃 場所；県労連事務所